

令和3年度
事業報告書

公益財団法人 秋田県ふるさと定住機構

目 次

1	Aターン・就職促進事業	1
2	若年者地域連携事業	9
3	キャリア応援事業	12
4	出稼ぎ者支援事業	14

1 Aターン・就職促進事業

決算額 40,741千円
(うち県委託費8,189千円)

県内企業へのAターン就職の促進を図るとともに、Aターン後の職場定着を支援するため、Aターン希望者登録の促進、県内企業と登録者双方に対する迅速・的確な情報とマッチング機会の提供、効果的な広報活動、相談窓口の充実、無料職業紹介を行うなどの事業を実施した。

(1) Aターン就職希望者登録の促進

Aターンフェアや相談会等の開催、市町村広報、情報誌等を通じて広く登録制度の周知・登録を呼びかけ、新規登録者の増加を図った。

(単位；人)

区 分	30年度 実績	元年度 実績	2年度 実績	3年度 目 標	3年度 実績
新規登録者数	799	1,378	823	1,100	870
年度末登録者数	2,678	1,382	1,885	2,500	2,317
Aターン者数	1,134	1,058	1,120	1,300	1,183
うち登録者	410	341	416	450	448

(2) 面接機会等の提供・確保

①Aターンフェア（面談会・セミナー・適職診断・就活相談・市町村・業界コーナー等）を秋田2・東京2・オンライン2の計6回を当初計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響で、秋田1回、オンライン4回に変更した。

Aターンフェア実施区分	規 模	実 施 時 期	開 催 地
機構・国・県主催	79社	6月27日	オンライン
機構・国・県・秋田市主催	40社	8月12日	秋田アサヒ
機構・国・県主催	85社	9月26日	オンライン
機構・国・県主催	58社	10月24日	オンラインに変更
機構・国・県・秋田市主催	74社	12月30日	秋田 ANA クラブ サク
機構・国・県・秋田市主催	47社	12月30日	オンライン(追加)
機構・国・県主催	59社	2月13日	東京 産業貿易センター

※東京開催（10・2月）は、県主催のあきた移住・就業フェアと合同開催

フェア開催状況

過去の実績	令和3年度	開催地・実施状況
29年度 ヒューリックホール 企業数 43社 来場者 73人 延面談 170人 相談等 55人 30年度 ヒューリックホール 企業数 56社 来場者 103人 延面談 221人 相談等 142人 元年度 ヒューリックホール 企業数 54社 来場者 141人 延面談 250人 相談等 163人 2年度 ヒューリック 中止	6月27日	オンライン 企業数 81社 来場者 56人 延面談 113人 1社1.4人 相談等 6人 市町村・団体 14 鹿角市、北秋田市、能代市、 秋田市、由利本荘市、にかほ市、 美郷町、横手市 県社協、後継者人材バンク、 自衛隊、農業公社、林業労働基金、 県デジタル室 相談コーナー 1 Aターン・移住
29年度 アトリオ3F 企業数 18社 来場者 66人 延面談 102人 相談等 49人 30年度 アトリオ地下 イベント広場 企業数 47社 来場者 245人 延面談 263人 相談等 209人 元年度 アルヴェ 企業数 50社 来場者 315人 延面談 459人 相談等 251人 2年度 アルヴェ 中止	8月12日	秋田 アルヴェ 中止
29年度 仙都会館 小ホール	9月26日	オンライン

<p>企業数 16社 来場者 35人 延面談 39人 相談等 10人</p> <p>30年度カーテンシティ仙台 企業数 49社 来場者 61人 延面談 79人 相談等 70人</p> <p>元年度 ホール松栄 企業数 49社 来場者 54人 延面談 140人 相談等 88人</p> <p>2年度 ホール松栄 中 止</p>		<p>企業数 85社 来場者 73人 延面談 125人 1社1.5人 相談等 12人</p> <p>市町村・団体 14 鹿角市、大館市、北秋田市、 能代市、秋田市、由利本荘市、 にかほ市、大仙市、美郷町、 上小阿仁村 事業承継引継ぎセンター、 林業労働基金、漁業スクール、 県農山村振興課</p> <p>相談コーナー 1 Aターン・移住</p>
<p>29年度 ヒュリック小ホール 企業数 16社 来場者 43人 延面談 59人 相談等 31人</p> <p>30年度 ヒュリックホール 企業数 53社 来場者 134人 延面談 226人 相談等 194人</p> <p>元年度 ヒュリックホール 企業数 55社 来場者 121人 延面談 268人 相談等 199人</p> <p>2年度 ヒュリックホール 中 止</p>	10月24日	<p>東京一都産業貿易センター浜松町館 オンラインに切り替えて実施 あきた移住・就業フェアと合同開催</p> <p>企業数 58社 来場者 42人 延面談 33人 1社0.6人 相談等 36人</p> <p>市町村・団体 17 秋田市、能代市、大館市、 男鹿市、湯沢市、鹿角市、 大仙市、にかほ市、由利本荘市、 北秋田市、小坂町、八峰町、 美郷町、羽後町 事業継承引継ぎセンター 自衛隊、漁業スクール</p> <p>相談コーナー 4 Aターン・移住、創業・起業、ICT 新規就農、地域おこし協力隊</p>
<p>29年度 アルヴェ 企業数 38社 来場者 350人 延面談 273人 相談等 131人</p> <p>30年度 アルヴェ</p>	12月30日	<p>秋田 ANAクラウンプラザホテル</p> <p>企業数 74社 来場者 216人 延面談 425人 1社5.7人 相談等 80人</p> <p>市町村・団体 9</p>

<p>企業数 49社 来場者 400人 延面談 313人 相談等 252人 元年度 アルヴェ 企業数 62社 来場者 550人 延面談 596人 相談等 280人 2年度 アルヴェ 中止</p>		<p>秋田市、由利本荘市、にかほ市 美郷町 事業継承引継ぎセンター 県社協、県警察、県看護協会 県農業公社 相談コーナー 7 Aターン就職、移住、学生就活、 ICT、適職診断、ハローワーク 職業訓練 ----- オンライン 企業数 47社 延面談 22人 1社0.5人 相談等 8人 市町村・団体 7 大館市、北秋田市、秋田市、 秋田県 県人事委員会、 自衛隊、漁業スクール 相談コーナー 2 職業訓練相談、起業</p>
<p>29年度 ヒューリックホール 企業数 54社 来場者 136人 延面談 232人 相談等 108人 30年度 ヒューリックホール 企業数 54社 来場者 138人 延面談 203人 相談等 251人 元年度 ヒューリックホール 企業数 57社 来場者 123人 延面談 255人 相談等 250人 2年度 ヒューリックホール 中止</p>	<p>2月13日</p>	<p>東京 都産業貿易センター浜松町館 あきた移住・就業フェアと合同開催 中止</p>

フェア参加企業等経年推移

区分/年度	30年度	元年度	2年度	3年度
開催回数	対面6	対面6	オンライン2	対面1、オンライン4
延べ参加企業数	308	327	134	345
来場者数	1,081	1,304	130	409
企業面談件数	1,305	1,968	225	718
各種相談件数	1,118	1,231	10	142

フェア出展企業に対する指導ガイダンスの実施

・7月21日（中止） ・12月9日 47社（オンライン）

その他フェア等への協力

7月7日 秋田市企業ガイドブックの配布（登録学生193人）
12月27日 秋田県コロナ禍再就職支援説明会出展企業募集案内

②県内求人情報の直接提供（無料職業紹介所の展開R 2.3.1 認可）

機構への来所・メール等相談者に対しワンストップでの企業求人紹介を行うなど面接機会を提供する体制を整えた。

提供件数 0件

③オンライン面談の促進

登録企業が実施する求職者とのオンライン面談を、就職ナビで紹介し申込み受付を行った。

登録企業数 101社 面談件数 11件

(3) Aターン企業面接交通費等の助成

①既卒Aターン登録者への支援

秋田県内で県内企業との面接機会の増加を図るため、面接に係る交通費の一部助成を行った。

区 分	30年度	元年度	2年度	3年度
面接者への助成	97	74	8	20
うち就職者	58	36	2	14

② Aターン登録学生への支援

Aターンプラザの学生就活サポーターとの連携により、学生登録の促進・就職相談を強化するとともに、県内企業へのAターン新卒者採用機会の増加を図るため、Aターン登録学生(県外学生)が県内企業と県内で面接をした場合、クオカード5千円を進呈する事業を行った。

(面接2社(異なる日)まで進呈)

・インセンティブ的助成であるため、クオカードの送付居住地が県外であれば遠距離・近距離等の格差はつけない。

事業費 500千円 (面接100件・50人×2社)

区 分	元年度末	2年度	3年度
県外Aターン登録学生	137	222	294
卒業年次	21	63	95
卒業年次以外	116	159	199
面接者への助成	—	0	6
うち就職者	—	0	0

(4) 広報活動の実施

- ①秋田魁新報を始めとした各新聞や民放TV、県・市町村広報誌など各種媒体を利用して、Aターン就職促進PR活動の実施
- ②Aターン・就職情報誌「あきた日和」を発行し、Aターン登録者に配布するとともに、関係機関等への配布掲示によるPR活動の実施
6,500部×3回発行
- ③県内の商工団体や業界・企業に対するAターン制度の普及・登録促進
- ④市町村における就職面談会等へ出展し、Aターン登録等PR活動を実施
- ⑤登録市町村・団体からの「ナビ」を活用した情報発信の促進
- ⑥あきた就職ナビへの関係機関リンク拡大強化による幅広い情報提供

○あきた就職ナビPR

・新聞広告 魁新報 魁情報プラザ (計10回掲載)

12月27日、1月11日、1月18日、1月25日

2月1日、2月8日、2月15日、3月1日、15日、29日

魁新報 囲碁バサミ (計3回掲載)

12月22日、1月19日、2月16日

○フェアPR

・新聞広告 5月27日、6月21日 魁新報

7月18日、8月6日 魁新報

8月25日、9月15日、21日 魁新報
9月27日、10月17日 魁新報
12月9日、12月23日 魁新報

・テレビCM 15秒ランダムスポット

5月27日～6月27日 ABS20本、AKT23本、AAB23本
パブリシティ30秒 各社1回
7月13日～8月12日 ABS26本、AKT33本、AAB20本
パブリシティ30秒 各社1回
8月25日～9月26日 ABS24本、AKT24本、AAB28本
パブリシティ30秒 各社1回
10月8日～10月23日 ABS28本、AKT18本、AAB12本
パブリシティ30秒 各社1回
12月1日～12月30日 ABS26本、AKT33本、AAB20本
パブリシティ30秒 各社1回

・ネット広告 (Yahoo!、Google、You Tube 等)

5月27日～6月27日 (オンラインAターンフェア)
8月24日～9月25日 (オンラインAターンフェア)

・PRチラシ 登録者、県内外大学・短大・専門学校、県内ハローワーク、
市町村等関係団体、秋田銀行・北都銀行全支店 に配布

○あきた日和発行

登録企業・登録者・県内市町村等関係団体・秋田銀行北都銀行
全支店に配布掲示

7月7日 6,500部 11月30日 6,500部
3月28日 6,500部

○その他

6月9・10日 秋田県合同就職説明会：ナビの説明・周知 16社
6月23日 雄勝地域企業と高校との人材確保情報交換会
：ナビの説明・周知 19社
1月18日 由利地域企業向けナビの説明会 37社
1月25日 由利地域合同就職面接会：ナビの説明・周知 (中止)
1月26日 大曲・仙北地域就職面接会：ナビの説明・周知 (中止)
1月26日 横手市就職面接会：ナビの説明・周知 (中止)
3月23・24日 県合同就職説明会：ナビの周知 (学生向け)

(5) 職場等定着支援 (秋田県委託事業)

県内企業の人材確保及び活性化には、Aターン(移住・起業含む)者等の県内就職はもとより、就職後の定着が重要な要素であることから、事前事後の相談体制を充実させ、定着にむけた支援を行った。

- ①機構内に専任職員(正職員1名、任期付1名)を配置
- ②相談ブースを設置
- ③県移住定住促進課が運営する移住システムを活用し記録・情報提供
※あきた就職ナビを併用した就職支援
- ④Aターン(移住・起業)後の訪問等による相談活動の実施

(単位;人)

区 分		元年度 実績	2年度 実績	3年度 実績
移住 システム	新規登録者数	826	645	820
	年(月)度末登録者数	3,156	3,789	4,609
移住完了確認世帯・人数		229世帯 494	303世帯 576	349世帯 669
相談対応		352	1,188	1,548
ふるさと定住機構		—	933	1,038
Aターンサポートセンター		352	255	510

2 若年者地域連携事業（秋田労働局委託事業）

決算額 30,788千円

コミュニケーション能力や職業に対する意欲が十分でないなどの問題を抱える若年者等に対し、職業意識や社会適応能力の啓発と向上を促すとともに、職業指導や就職準備について支援を行うほか、ハローワーク業務との相互補完や関係機関との連携を図りながら、一人でも多くの若年者の就職支援及び若年者の職場定着に繋がるような企業の取組を促すための支援を実施した。

(1) 若年者の採用拡大のための広報及び啓発等

- ・WEB広告、ホームページ、広報誌、メールマガジン等による広報及び啓発
- ・ポスター、リーフレット等による広報及び啓発
- ・ホームページ内の「就活チャンネル(動画)」等の支援バナーによる支援内容の周知
- ・「ユースエール認定企業」事業の周知・広報 他

・ 広報用ポスターのリニューアル版

作成数 A2版210枚

配布先 大学等、高校、ハローワーク、公民館、市町村等

・ WEB 広告

あきた就職活動支援センターの利用促進を図る

プロモーション 5月～7月 (Google、Yahoo!、Facebook、Instagram)

12月～1月 (Youtube)

1月～2月 (Facebook、Instagram)

・ リーフレット作成配布

広報用リーフレットのリニューアル版

作成数 A4・三つ折り版 9,300枚

配布先 センター、サテライト、ハローワーク、大学等、高校

・ 就活アシスト通信 Solana ―そらな―、サテライト通信の発行

作成数 A4二つ折り

発行時期 2カ月に1回

発行数 そらな(60号～65号) 3,480部、

サテライト通信(31号～36号) 1,270部

配布先 各ハローワーク、各市町村コミセン、センター、サテライト

・メールマガジンの発行 「J o b っ ち ゃ お 通 信」

登録者数 235人 (3/28現在)

発行時期 月2回

発行数385号 (4/5) ~ 410号 (3/28) 計26回

(2) 「就職力」を身につける事業

項 目		3年度計画		3年度実績		
		回数	人 員	回数	人 員	
就 職 対 策 関 係 講 座	就職アシスト講座 (若年求職者)	一般	40	300	26	117
		学生			8	359
	一般求職者	学生				
	中央	11回 57人	大学等	8回	359人	
	北部	6回 19人				
	南部	9回 41人				
就 職 活 動 支 援 セ ミ ナ ー (卒 業 年 次)	就職活動支援セミナー (卒業年次)	学生・生徒	20	900	25	893
	中央	大学	2回	145人	高校	15回 562人
	北部				高校	1回 45人
	南部				高校	7回 141人
パソコンを活用した職業適性診断の実施 (施設内は随時、就職相談会場等での実施)			随時	250	随時	364
うち フェア・相談会等での実施状況						
8月21日 ふくしのしごと総合フェア ホテルメトロポリタン秋田 (中止)						
8月23日 横手市就職面接会 横手セントラルホテル (中止)						
9月5、6日秋田県介護ロボット展及びお仕事相談会 アルヴェ (中止)						
12月30日 Aターンフェア in 秋田						
1月25日 由利地域合同就職面接会 ナイスアリーナ (中止)						
1月26日 横手市就職面接会 横手セントラルホテル (中止)						
2月2日 秋田県コロナ禍再就職支援説明会 なかいち (中止)						
2月5、16日 女性のためのお仕事探し アルヴェ (中止)						
就 職 準 備 セ ミ ナ ー (高校1・2年生対象)	生徒	10	750	17	1,035	
中央	高校	9回	595人			
北部	高校	3回	113人			
南部	高校	5回	327人			
就職活動支援コーナーによる支援 (PCによる情報検索、応募書類の作成支援)			通年	1,500	通年	1,497
計				3,700		4,265

(3) 「定着力」を身につける事業

項 目 区 分	3年度計画		3年度実績	
	回数	人 員	回数	人 員
若年者に対する企業説明会・職場 見学会の実施(県内大学生等も対象)	15	150	47	102
57社 47回 参加者102人 [一般求職者 7人 大学生40人 短大1人 専門校34人 高校生20人]				
新卒就職内定者に対する「新社会 人準備講座」の開催	15	1,000	10	1,147
・高校又は各地域で開催 ・大学生等向けは一括開催				
大学等オンライン	1回	140人		
高校	9回 36校	1,007人		
うちオンライン	6回 33校	836人		
うち単独開催	3回 3校	171人		
職場定着セミナーの開催	6	200	6	131
管理者及び若手職員を対象に実施 (同日管理者午前、若手職員午後実施)				
県北	10月 7日 オンライン	管理13社20人、若手 5社 9人		
中央	10月 6日 オンライン	管理21社33人、若年23社40人		
県南	10月 5日 オンライン	管理 8社11人、若年 8社18人		
合計		管理42社64人、若手36社67人		
計	36	1,350	63	1,380

3 キャリア応援事業（秋田県委託事業）

決算額 30,737千円

就職に関する悩みや課題を抱える全年齢層の求職者に対し、キャリアコンサルティングの機会を提供するとともに、相談者個々人の特性に応じたきめ細やかな支援を実施した。

(1) カウンセリング等施設の運営

秋田県ワンストップサービスセンターとして、

「あきた就職活動支援センター」の運営

中央センター（秋田テルサ3F）	相談員	3名配置
北部サテライト（大館市伊徳3F）	相談員	1名配置
南部サテライト（横手市イオン2F）	相談員	2名配置
計		6名配置

(2) カウンセリング・セミナー等の実施

区 分	3年度計画	3年度実績
個別カウンセリング	4,300人	3,735人
内 新規登録	1,000人（中央474人 北部197人 南部329人）	
内 就職者	543人（中央234人 北部126人 南部183人）	
就職支援プログラム作成	550人	680人
ジョブカード作成支援	10人	8人
グループカウンセリング テルサ内 火曜日	20回	20回
ハローワーク就職支援セミナー 12 HW	150回	161回
各種講座による支援（若年連携共催）	150人	114人
就活ミニセミナー	5回	5回
中学高校等でのキャリア教育支援	10回	3回
中学校	0回	0人
高校	3回	412人
各種事業開催時におけるコンサルティング等の実施（市町村等就職相談会・機構フェア等）	15回	1回
12月30日 Aタームフェア in 秋田 ANAクラウンプラザホテル秋田		18人
出張相談 in アルヴェ広告	12月10日 マリマリ	
	1月 6日 秋田魁新報	
	1月17日 秋田魁新報	
	2月 7日 秋田魁新報	

(3) 職場定着への支援実施

- ①利用者の就職企業定着を支援するためフォローアップ相談等実施
- ②企業からの定着相談等に対するコンサル等実施

○利用者のフォローアップ

- ・利用者への働きかけ：就職決定半年後に手紙を送付 390人
- ・相談件数 11人 延べ 15回

(新規)

○出張相談 in アルヴェ

11月25日	1人	12月15日	4人
1月12日	2人	2月4日	4人
2月22日	3人	3月7日	4人

4 出稼者支援事業 【その他の事業（相互扶助事業）】

決算額 4,424千円

秋田県の出稼労働者推計調査によれば、令和3年11月20日現在の本県の出稼者数は169人で、前々年度より90人減となり、昭和57年度以降減少が続いている。一方、60歳以上の出稼者が126人（74.6%）と最も多く、就労先での怪我の発生や留守家族等の連絡不足などが懸念されることから、引き続き、出稼者及び留守家族に対する支援が必要である。

このため、令和3年度においても、秋田県の出稼労働者援護事業方針に基づき、秋田県、県内市町村、秋田労働局等と連携協力し、以下の事業を実施した。

（1）出稼に関する情報の収集、提供

- ①市町村出稼相談所を通じ届け出た出稼労働者数の把握
- ②秋田県東京事務所と連携した出稼労働者実態の把握

出稼者数の推移

区 分	3年度	元年度	30年度
出 稼 者 数	169人	259人	284人
うち60歳以上	126人	190人	204人
割 合	74.6%	73.4%	71.8%

※雇用労働政策課調（各年とも11月20日現在）

元年度から隔年調査

（2）傷害総合保険への加入取次

- ①当財団が団体加入している傷害総合保険事業の情報提供
- ②傷害総合保険加入を前提とした、出稼就労届出の促進のための、市町村広報等による啓発促進

傷害総合保険加入者数の推移

区 分	3年度	2年度	元年度
加 入 者 数	143人	162人	205人
加 入 率	84.6%	—	79.2%

※ 2年度は出稼者数調査がないため加入率は算定しない。

（3）出稼に関する困りごと相談

市町村出稼相談所、秋田県東京事務所と連携した出稼に関する困りごと相談及び傷害総合保険契約会社への照会、取次